

【第1学年便り】

# ぐんぐん



台東区立千束小学校  
第1学年便り No.6  
令和6年5月10日  
校長 山宮 秀和  
1組担任   
2組担任

## 昼休みを楽しんでいます！

5時間授業が始まり、1週間が過ぎました。5時間目の授業も眠くなるような姿は見られず、頑張っています。午後の授業があることで、昼休みに遊べるようになり、子供たちは喜んでいきます。校庭では、ボールやフリスビーを使った遊び、鬼ごっこ、うんていや登り棒などの遊具での遊びが多く見られます。屋上では、池の魚を見たり虫を探したり、だるまさんが転んだなどの遊びもしています。休み時間に何をして遊んでいるか、ご家庭でも話題にしてみてください。

### \*\*\*週予定 1組\*\*\*

	13日(月)	14日(火)	15日(水)	16日(木)	17日(金)
予定	避難訓練			耳鼻科検診	
朝	全校朝会	朝学習	朝学習	児童集会	朝学習
1	こくご(しょしゃ)	せいかつ	おんがく	がいこくご	たいいく
2	どうとく	せいかつ	さんすう	たいいく	ずこう
3	たいいく	さんすう	こくご	さんすう	こくご
4	さんすう	こくご(としょ)	せいかつ	こくご	おんがく
給食	○	○	○	○	○
5	こくご	たいいく		がっかつ	ずこう
下校					
宿題	ひらがなスキル P38なにぬねの のれんしゅう	ひらがなスキル P39はひふへほ のれんしゅう	ひらがなスキル P40まみむめも のれんしゅう	ひらがなスキル P41やいゆえよ のれんしゅう	ひらがなスキル P42らりるれろ のれんしゅう
持ち物	基本の持ち物 書写の教科書 上履き 体育着 白衣(前週に当番の人)	基本の持ち物	基本の持ち物	基本の持ち物	基本の持ち物
提出物					体カテストアンケート

【基本の持ち物】 ※毎日持たせてください。

- ① 標準服 ② 校帽 ③ ランドセル ④ 連絡帳・連絡帳袋 ⑤ 筆箱 ⑥ 下敷き(無地) ⑦ 自由帳  
⑧ 国語と算数の用意 ⑨ ハンカチ・ティッシュ ⑩ マスク(給食配膳時用)

【第1学年便り】

# ぐんぐん



台東区立千束小学校  
第1学年便り No.3  
令和6年5月10日  
校長 山宮 秀和  
1組担任   
2組担任

## 昼休みを楽しんでいます！

5時間授業が始まり、1週間が過ぎました。5時間目の授業も眠くなるような姿は見られず、頑張っています。午後の授業があることで、昼休みに遊べるようになり、子供たちは喜んでいます。校庭では、ボールやフリスビーを使った遊び、鬼ごっこ、うんていや登り棒などの遊具での遊びが多く見られます。屋上では、池の魚を見たり虫を探したり、だるまさんが転んだなどの遊びもしています。休み時間に何をして遊んでいるか、ご家庭でも話題にしてみてください。

### \*\*\*週予定 2組\*\*\*

	13日(月)	14日(火)	15日(水)	16日(木)	17日(金)
予定	避難訓練			耳鼻科検診	
朝	全校朝会	朝学習	朝学習	児童集会	朝学習
1	おんがく	せいかつ	せいかつ	ずこう	たいいく
2	こくご(しょしゃ)	せいかつ	さんすう	ずこう	せいかつ
3	たいいく	さんすう	こくご	さんすう	おんがく
4	さんすう	こくご	こくご	がいこくご	がっかつ
給食	○	○	○	○	○
5	どうとく	たいいく		たいいく	こくご(としょ)
下校					
宿題	ひらがなスキル P38なにぬねの のれんしゅう	ひらがなスキル P39はひふへほ のれんしゅう	ひらがなスキル P40まみむめも のれんしゅう	ひらがなスキル P41やいゆえよ のれんしゅう	ひらがなスキル P42らりるれろ のれんしゅう
持ち物	基本の持ち物 書写の教科書 上履き 体育着 白衣(前週に当番の人)	基本の持ち物	基本の持ち物	基本の持ち物	基本の持ち物
提出物					体カテストアンケート

【基本の持ち物】 ※毎日持たせてください。

- ② 標準服 ②校帽 ③ランドセル ④連絡帳・連絡帳袋 ⑤筆箱 ⑥下敷き(無地) ⑦自由帳  
⑧国語と算数の用意 ⑨ハンカチ・ティッシュ ⑩マスク(給食配膳時用)

(共通)

## ☆学習の様子について☆

①国語では、ひらがな「あ」から「ん」までの学習が終わりました。文字を提示すると読める子が多く、読みはできてきています。一方、「『な』ってどう書くのですか？」という質問が多く聞かれます。音を聞いても文字が出てこない様子が同え、練習中です。

②一人一人の語彙に大きな差があります。文字も覚え、語彙を増やしていくのに最適な時期です。しりとりや言葉集めなど、ゲーム感覚で取り組めることがたくさんあり、学校でも行っています

③算数では、10までの数について学習が終わりました。中でも、10の補数(いくつといくつで10になるか)は、今後のあらゆる計算につながる大切な内容で、すらすら言えるようになることを目標に繰り返し取り組んでいます。

ご家庭でも、時間のあるときに取り組んでください。保護者の方が子供の学習内容に関心を持ち、誉めてくれることが、子供の学習意欲や家庭学習習慣の定着につながります。